

宇佐小・新居小・土佐南中学校 「家庭学習」の9年間のながれ



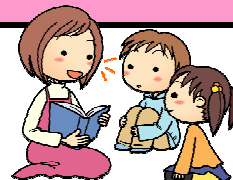
☆土佐南中学校区の小中学校では、下のように「義務教育の9年間の家庭学習のながれ」をまとめてみました。児童生徒のみなさんは、それぞれのステージの内容について知り、先の見通しをもって家庭学習に取り組んでいきましょう。また、着実に力をつけるためにも、お家の方のアドバイスや協力をよろしくお願いします。

土佐南中学校区小中連携推進協議会 学力向上部会

学 年	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校1年	中学校2・3年	
大切にしたいこと	①時間を決めて毎日続けましょう。②最後まで取り組みましょう。			③宿題だけでなく、「自学」の習慣をつけましょう。		
めやすの時間	20～30分	40～50分	60～70分	80分以上	90分以上	100分以上
内容や方法	☆出された宿題は最後まで確実にやりましょう。 		☆宿題は確実にやりましょう。 ☆自主学習(予習・復習)のやり方を知り、進んで取り組みましょう。	☆復習と予習に毎日取り組みましょう。 ☆自学ノート:「まとめる学習」「覚える学習」「試す学習」にバランス良く、取り組みましょう。 ☆英語単語ノート ☆学級や教科からの宿題プリント等		
 読 む	☆声の大きさや、や。に気をつけて正しく音読しましょう。 (お家の方には、本読みを聞いてもらったり、時には本の読み聞かせもお願いします。)	☆内容の中心や場面のようすがよくわかるように音読しましょう。	☆自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をしましょう。	☆英語の発音を確認しながら読みましょう。 ☆古文は何度も音読し、読み慣れましょう。	☆英文を読んで、内容を読み取りましょう。自分の考えや意見も英文で表現してみましょう。	
	☆読書の習慣をつけ、目標も立ててみましょう。(「月〇冊、または、〇ページ以上読む!」「同じ作者の本を全て読む!」など)				☆いろいろな分野のよい本を読み、見方や考え方を広めましょう。	
 か 書 く	☆文字は筆順・とめ・はね・はらいに気をつけていねいに書きましょう。		☆文章に出来事や思ったことを書き、自分の生活をふり返りましょう。	☆新出漢字と既習漢字をバランス良く覚えるように、計画的に学習しましょう。 ☆習った漢字を日頃から使うようにしましょう。 ☆英単ノートはスペルを確実に、声に出しながら書きましょう。		
	☆あった出来事や思ったことを「段落・会話文・句読点(、や。)」に気をつけて文章に書きましょう。					
計 算	☆計算ドリルや計算カードを使って、たし算、ひき算、かけ算をくり返し練習しましょう。	☆計算ドリルにくり返し取り組み、間違った問題はもう一度練習しましょう。	☆速く、正確に計算できるようにくり返し練習しましょう。計算をつかった文章問題にもすすんで取り組みましょう。	☆+・-に気をつけて、計算練習に取り組みましょう。授業で学習した問題はその日のうちにもう一度取り組みましょう。	☆授業で学習した問題はその日のうちにもう一度取り組みましょう。(特に間違った問題は必ずやり直すようにしましょう) ☆応用問題や入試問題にも計画的に取り組みましょう。	
し ら 調 べ る	☆わからないことは、先生や家の人に聞いたり辞典で調べたりしましょう。		☆資料集や地図帳などもつかって調べましょう。	☆調べるのに必要な資料や情報を「自分で見つけて」、「関心を持って」調べましょう。		
			☆わからない言葉を国語辞典や漢字辞典を使って、自分で調べましょう。	☆わからない言葉は国語・漢和・英和・和英辞典などを「うまく選んで」調べましょう。 		
こんなアドバイス や きょうりよく 協力を	☆学習内容や方法を自分で決めるのはまだ無理なので、お家の方の温かい手助けや声かけが必要です。 「きれいに書けたね」「昨日より上手に読めたね」	☆自立心がめばえ、自分でやろうとすることが増えます。しかし、まだお家の方の手助けが必要です。 「自分一人で頑張ってきたね」	☆自分のことは自分で見通しを持って、できるようになる時期です。気持ちの揺れがあっても、根気強い関わりをお願いします。	☆中学校生活に対する希望と共に、学習と部活の両立にも不安を持っています。温かい励ましと頑張りを認めていくことをお願いします。	☆思春期・進路などいろいろな悩みや不安を抱える時期です。家族として、大人として「共に寄り添う姿勢」と適切なアドバイスをお願いします。	

☆ 家庭生活で大切にしたいこと

- ① 基本的な生活習慣 (早寝・早起き・朝ご飯)
- ② あいさつ・返事
- ③ 家族の一員としての役割
- ④ 家族の会話



☆ 家庭学習でこんな力がつきます!

- ① 授業で学んだことの定着が図れ、授業も「よりわかる」ようになります。
- ② 課題を自ら「選び」学習する習慣が身につきます。
- ③ 高等学校でも強く求められる予習・復習の習慣が身につきます。
- ④ 継続して取り組むことで、達成感が味わえ、意欲的になります。